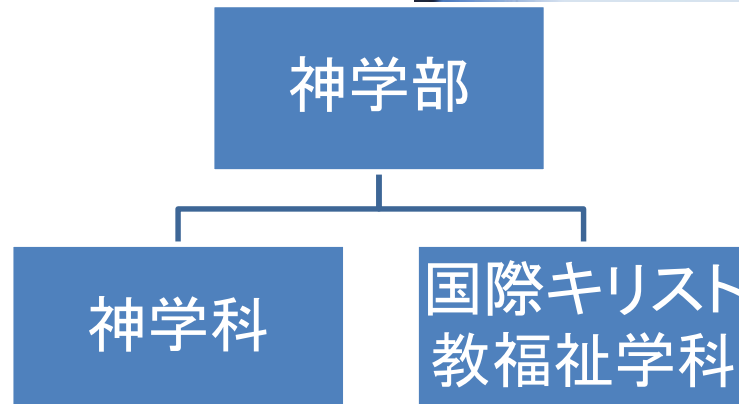
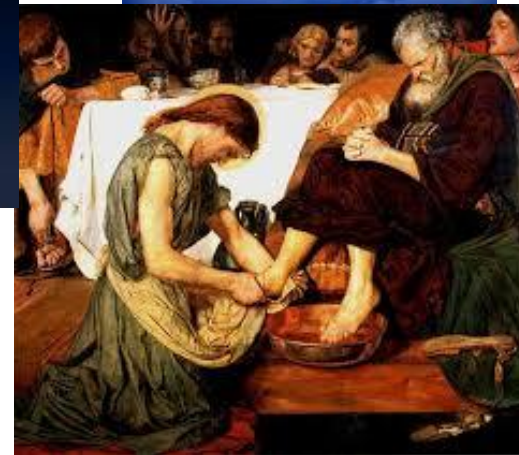


HE IS RISEN
CELEBRATE THE RESURRECTION

教会と地域を結ぶ新たな宣教

～教会の福祉ミニストリーの事例を通して～



キリスト教福祉学専攻
inoue@tci.ac.jp

井上貴詞

ようこそ！キリスト教と福祉の研究会へ

- 設立の趣旨
- キリスト教福祉学専攻が開設して10年が経過し、卒業生も福祉現場で活躍しています。このことを感謝とする共に、現在の学内改革の進行と共に魅力的で持続可能な福祉教育のありかたが求められています。また、教会・社会への発信や提言、福音主義大学としての福祉教育・研究機関としてのコンサルテーション活動も必要です。
- これらを主からの期待と受け止め、各専門分野、専攻の壁を取り払い、賜物を結集し、「TCUらしい福祉のあり方、その理論と実践」を探究するために本研究会を立ち上げます。現在は、個人の研究助成からの小さなスタートですが、細く長く継続し、その果実を内外で共有し、主のみわざの進展に役立てたいと願います。

教会は地域社会にとってどんな存在か

- 地域に派遣された教会はどのくらい地域社会を知り、また地域の人々に認知されているか？
- いじめ、虐待、自殺、孤独死、少産多死→スピリチュアルなニーズ、通過儀礼の開拓と地域の文化的宗教的社会的脈絡と宣教のコンテクスチュアリゼーション

新約学者 ニコラス・T・ライト

- If theology matters, then it has to be local.
- (神学が重要であるならば、それは身近な事柄に関わるべき)
- (神学とは、日々の生活に関わるのでなければ意味がない)

神学的なひとつの枠組み

- 現代のミーイズムと対峙する
教会の共同体論
- 神のかたちを焦点化して

現代は個人主義の時代

- 伝道も一本釣りなら、教会生活も「生活」でなく、「集会に行く」ことに留まっていないか。
- **教会は、神の家族。共同体である。**
- マルコ3:35、ヨハネ19:27、エペソ2:19、ガラ6:10、Iテモテ5:8
- **教会の中で共同体としての神の「かたち」が見失われていないか。**

鈴木文治「インクルーシブ神学への道-開かれた教会のために」新教出版社、2016年

- 「実存主義の残した『負の遺産』は、『神の前で独りで立つ』という信仰の個人主義的理解であり、それが『信仰の我ら性』を片隅に追いやった」43頁
- 「創世記2章18節「人が一人であることはよくない。『彼に合う助け手』を作ろう」の助ける者とは、「彼に差し向かう者である助け手を造ろう」の意であり、この「差し向かい」こそが「神の似姿」76頁

向谷地生良 「精神障害と教会-教会が教会であるために」いのちのことば社、2015年、169頁

- 「日本の教会のひとつの現実
...教会に足を運び、一見人と
つながりがあるように
- 見えながら、お互
- いの抱える苦労や
- 悩みをほとんど知
- らない。」



(ボンヘッファー『共に生きる生活』138頁)

- 「礼拝、祈り、奉仕の交わりを持っていてもかかわらず、ひとりのままにとどまっており、交わりへの最後の通路が開かれなない。」



聖化を個人化・矮小化していないか。

- 霊的形成とは必然的に社会的である。
- 霊的形成を個人的なことだと思うならそれは誤解です。「私と神様の間の問題」「私が何をしようと私の勝手」という人は、「私」も神も誤解している。私と神との間のことはすべて私の人格に影響し、それは周囲のすべての人との関係に影響する。
- ダラス・ウィラード「心の刷新を求めてーキリストにある霊的形成の理解と実践」あめんどう、2010年

赤木善光『教会的キリスト教』自由が丘教会文庫、1974年、36-37頁

- 「教会がキリストの体である」という神学的命題が字義通りからだ的に受け取らせず、空体語にしてしまった。それは頭や理性でわかるものでなく、経験または体験すべきものであり、自ら親しくこれを体験するように
- 私たちを招いている。



神と人、人と人との関係性の中で考える「神のかたち」とは？

- 「罪」によって失われた神との関係
- 神のかたちは、神とのダイナミックな関係の相互作用によって、回復されていく。
- キリストは、神の完全なかたち（コロ1:15）
- キリストに見られる神のかたちとは、
 - 1) 他者を自分のように愛する。2) 他者に話しかけ耳を傾ける。3) 他者を助け、助けられる。4) これらに喜んで仕える。
- 三位一体の神の交わりは、完全な交わり。

神のかたちの回復とは、共に生きる者とさせられていくこと！

- 私たちもこのかたちと交わりにあずかっていく。
- 「兄弟の前で自分の罪を告白する者は、もはや自分自身だけでいるのではないことを知り、他者が現実にもそこにいることの中に、神の現臨を経験するのである。」

ボンヘッファー『共に生きる生活』145頁(新教出版社、2004年)

【《神のかたち》の毀損と回復のスキーマ】

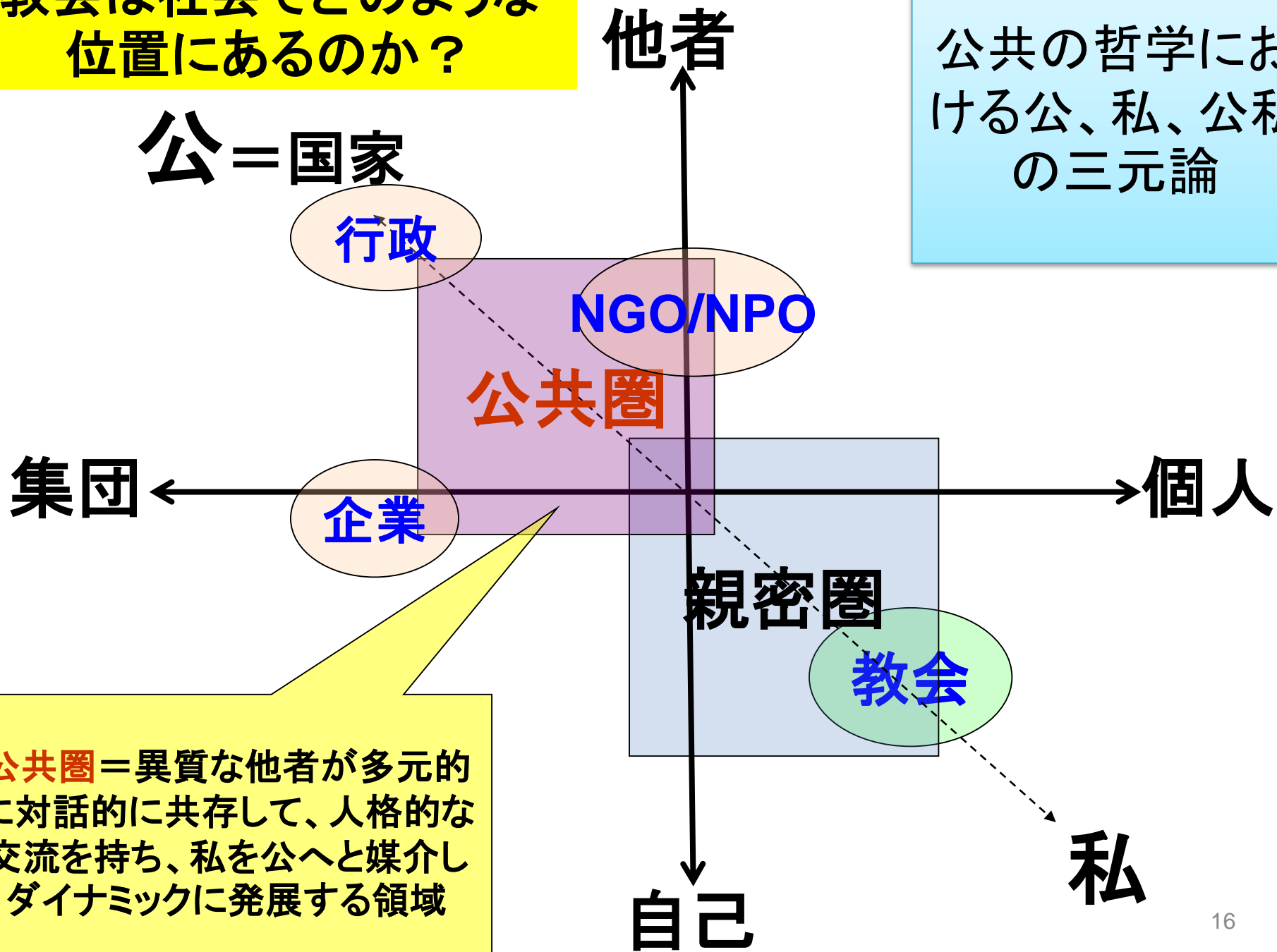
	創造された神のかたち	毀損された神のかたち	真性の神のかたち(キリスト)	《回復された神のかたち》開始	課題(継続)	約束(完成)
関係概念(契約)	神との交わり(創世2:16、17)	断絶・疎外(創世3:24)	神の子羊	義・和解(I コリント1:30)、証印(エペ1:13)	神の国とその義を求め続ける:信(堅持)、御霊に満たされ続ける(エペ5:18)	神との直接的交わり(黙示録22:3,4)
河野勇一『わかるとかわる！《神のかたちの福音》』(いのちのことば社、2017年 引用・一部改変)						
実体概念(いのち)	神の霊のいのち(創世2:7)	腐敗・滅亡(創世3:22)	第二のアダム	新生・聖め(I コリ1:30、ルカ15:3~7)内住(ロマ8:11)	隣人を愛する愛(聖化)、御霊の実を結ぶ(ガラ5:22~23)	からだのよみがえり(黙示録22:1、2)
目的概念(職能)	神からの委託(創世2:15)	虚無・歪曲(創世3:23)	神のしもべ(模範)	贖い・召命(I コリ1:30、ルカ15:8~10)、保障(エペ1:14)	自分の十字架を負い、ついでいく。望(献身)、御霊の賜物の活用	神の国の相続(黙示録22:5)

文化命令と宣教命令を 統合的に理解する

- 創世記1章26～28節
- 神との関係において、隣人との関係において、真実に交わり、愛しあう存在(かたち)を担って被造物を神の御旨にそって管理する人を増やす⇒伝道命令でもある。
- マタイ28章19-20節
- 神の畑であるこの世界に出て行って、神から委託された被造物を正しく、管理し、十字架の贖罪愛に促されて互いに愛し合い、人々に仕える弟子を作る。⇒文化命令でもある。

教会は社会でどのような位置にあるのか？

公共の哲学における公、私、公私の三元論



公共圏 = 異質な他者が多角的に対話的に共存して、人格的な交流を持ち、私を公へと媒介しダイナミックに発展する領域

今日の福祉は教会に近づいている！ a

- 「新しい社会福祉実践とは、異なった生活や認識を持つ者が互いに接触し、互いに認め合い、変化と成長を促し、新しい文化を創る、そのような取り組みに貢献するもの、市民参加型社会の構築を意味する...

今日の福祉は教会に近づいている！b

- したがって、「待っています」「来て下さい」と語りかけるだけでなく、
地域住民の情報交換、生活スタイルに合わせた支援方法の模索
が求められ、日時に縛られず、**気**
軽に顔を合わせられる機会や場
の提供に努めることも必要。

今日の福祉は教会に近づいている！c

- 「それは、家族に代わる組織を、
小さな地域単位で創り上げ、近
所に住む高齢者から幼児までが、
相互扶助の関係に立って助け合
うネットワークを『当事者発信（支
援を必要とする人々の発想から』
の視点から樹立することであ
る。」

悩みを抱える人が気軽に集える場となっているのだろうか！



介護者、認知症の人、心
病む人、末期がん患者、
離別・喪失などの痛みを
抱える人、孤独に苦しむ
人・・・etc.

クリスチャンが地
域に遣わされる機
会は広がってい
る！ 認知症サポーター、
傾聴ボランティア、一人
暮らしの方への訪問・・・
etc.



教会の中に居場所・役割をつくる。

- **共に祈り、励ましあう仲間と居場所**
- **楽しい高齢者の集い＝喜楽希楽会**
- **1990年にスタート**
- **高齢者の蓄積された知恵と経験を活かす奉仕の場の提供**

専門性を要さない隙間の支援へ

- **教会員への訪問・かかわり活動を地域の人々へ広げる。**
- **安否確認**
- **電話・訪問、通常と災害時等**
- **憩いの場、サロンやデイケア**
- **制度によらない高齢者の集い（ちょっとした支援があるもの）**

支援の組織化、制度の活用

- **有償による相互扶助サービス**
- **コーディネーターの重要性**
- **97年からの教会看護師の活躍**
- **地域社会の機関との連携**
- **地域包括支援センター、当事者組織、社会福祉協議会、社会福祉士会やケアマネジャーの会（職能団体）**
- **介護保険指定事業の開始**

喜楽希楽サービスとは

神を**喜**び、隣人を**楽**しませ、天国の**希**望に輝いて、人生を**楽**しむ

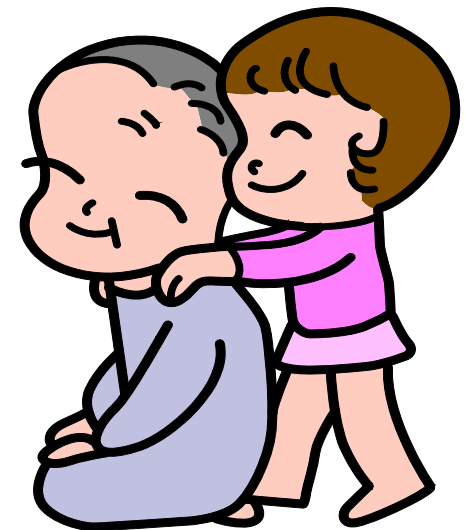
- あるがままの私たちを受け入れて下さる
神の愛と
- お一人おひとりの「～したい」の思いを
大切に
- 共に味わう新たな喜びを・・・

- 2003年通所介護・居宅介護支援事業開始
- 2005年訪問介護事業スタート
- 通所月延べ380名利用(1日平均14~15名)、
訪問月延350名利用、居宅介護支援66件

めぐみサービスって何？



- 1. 教会の相互扶助サービスです。
- 2. 制度で対応できない「すき間」や「限界」を埋めるサービスです。
- 3. 支援者は、責任を持ってサービスを提供していただくために有償です。
- 4. 利用者は、遠慮なく必要を申し出ることが
できます。(1時間600円)



制度のすき間とは？

福祉制度

福祉制度

サービス支援

すき間

サービス支援

谷間

ニーズ(様々な必要)

介護保険では、電球の取り替え、草取り、大掃除、ペットの世話などはできないことになっています。



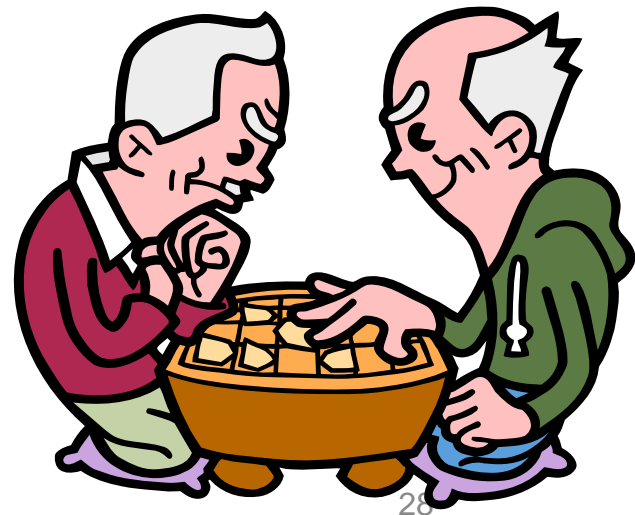
具体的には？ a



- 生活支援；
- 身の回りのお世話、入浴手伝い、衣服着脱手伝い、通院付き添い、買い物手伝い、調理、洗濯、掃除、家具の移動や簡単な修理、産前産後の母子の支援等

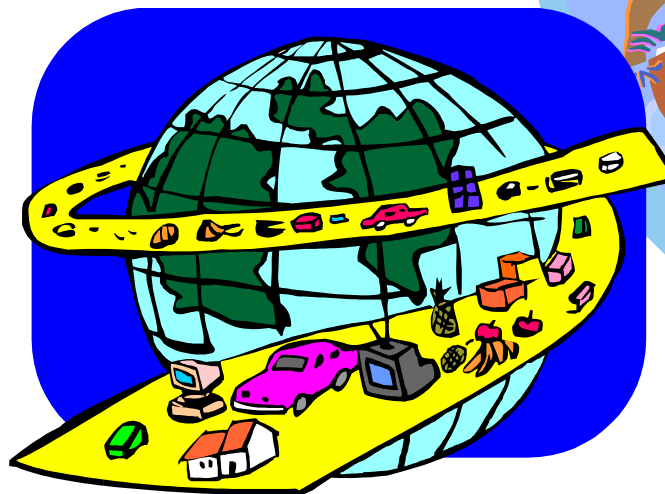
具体的には？b

- 生きがいの支援；
- お話し相手、遊び相手、朗読・代読、個人学習の助け等

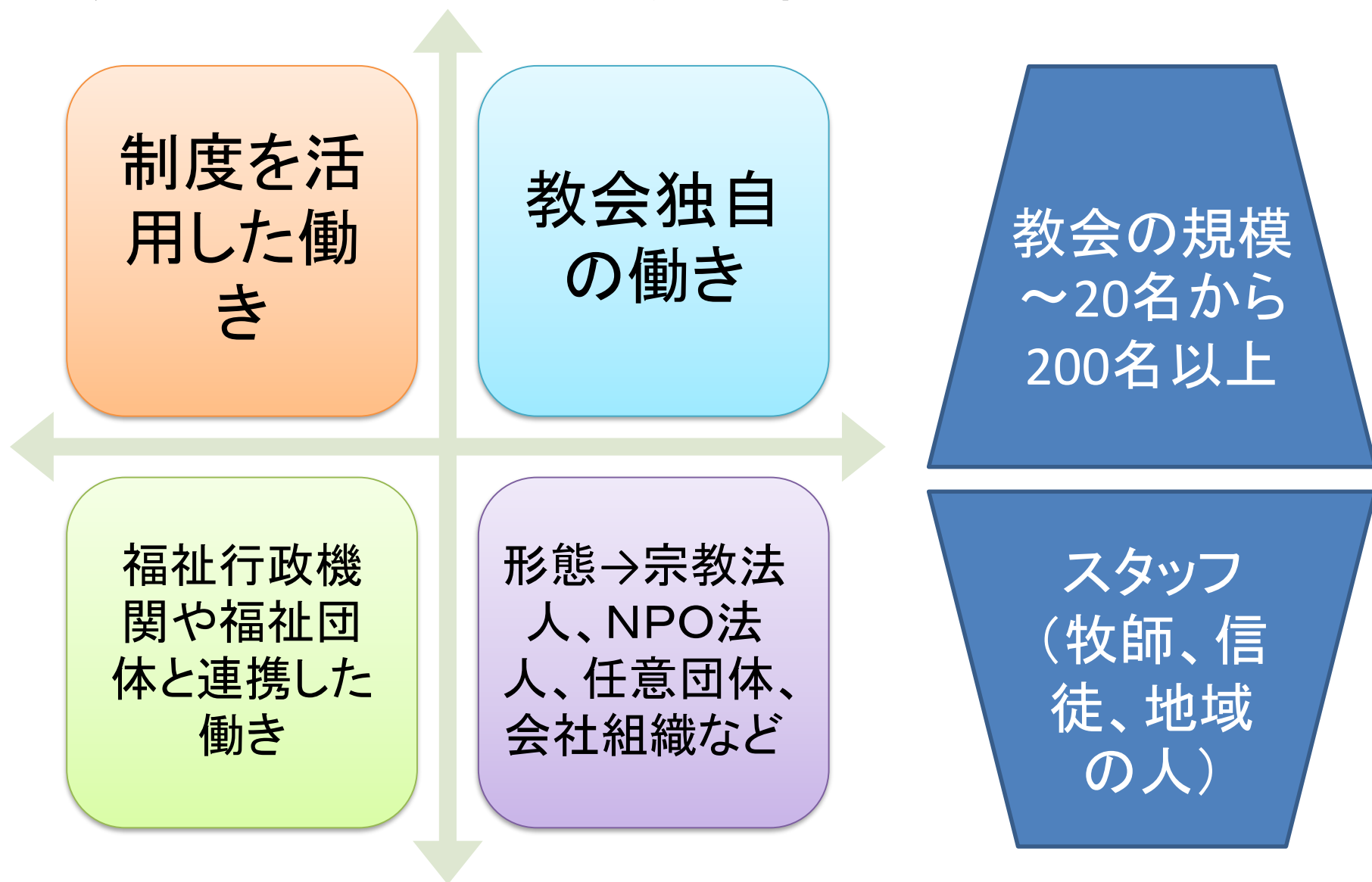


具体的には？C」

- 高齢者だけでなく、また国籍も関係なく、すべての人の様々な必要に個別に対応する福祉サービスです。



教会が取り組む地域の福祉ミニストリー



牧師のポジショニングと信徒の賜物の活用が鍵！

今、静かに全国に広がる 地域教会密着型福祉の働

横浜

川崎

相模原

東京

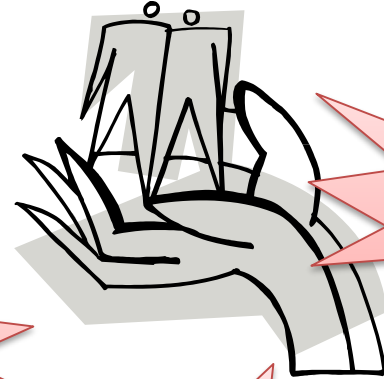
札幌

宮城

岡山

千葉

土浦



ホッとスペース中原（神奈川県川崎市中原区）



**元祖宗教法
人介護事業**

◆ 高齢者部門

- 訪問介護（ヘルパー）
- 通所介護（デイサービス）
- 居宅介護支援（ケアマネ）

◆ 障がい者部門

- グループホーム
- ヘルパー派遣

◆ 子育て世代支援部門

- ふれあい広場（0歳から3歳までの親御さん）
- ヘルパー派遣

◆ 教育部門

- 無料塾（貧困層・在日の方々）
- 基礎研修

◆ 権利擁護部門

放課後等デイサービス

(久居聖書教会)



生活能力の向上のために必要な訓練、
社会との交流

15時15分 学校⇒送迎

～15時40分 個別課題学習

文字、計算、パズル、作業活動

おやつ・休憩

16時～ゲーム、工作、運動、音楽遊びなど

17時～掃除・帰宅準備、自宅へ送迎



オレンジカフェ@教会



Orange Open
Cafe
オレンジカフェ

ゆっくりおはなし
しませんか？
オレンジカフェは、
認知症のちよこ太人やご家族、地域にお住
いの方やボランティアなどの専門職ほか、
どなたでも参加できる楽しい場所です。
どうぞ、お気軽にお越しください。
地域の輪を広めて下さい。

【お問い合わせ先】
川越市地域包括支援
センター
電話 049-122

2015/07/01

グループホーム シオン相模原



グループホーム
シオン相模原

TEL 042-771-1308

贈 相模原牧師会
シオン相模原家族会

全国に広がる子ども食堂





がん哲学外来カフェ



2019年6月29日日本キリスト教社会福祉学会

**ソーシャル・キャピタルとしての教会の福祉ミニ
ストーリーの可能性についての一考察**

～インタビュー調査のデータから～

ソーシャル・キャピタルとは何か

- ソーシャルキャピタル(社会関係資本)とは、研究者による強調点は異なるものの、一般に人々の中の協調的な行動を促す「信頼」「互酬性の規範」「ネットワーク(絆)」を指す。
- ソーシャルキャピタルには、内部の人々の互酬性を安定させる「結束型」と外部とのつながりの潤滑油としての「橋渡し型」がある。公共哲学で言えば、前半は内向きで等質的な集団を強化する「親密圏」、後者は外向きで多様な社会的亀裂を超えて人々を包含する「公共圏」と言い換えられる。
- さらに、こうした結束型と橋渡し型を相互補完的に位置づける議論もあり、これは昨今の「親密圏」と「公共圏」を二分せずに循環させようとする宗教と社会の関係性の動きにも呼応する。

ソーシャル・キャピタルと宗教の先行研究

- ソーシャルキャピタルと寺院（自死問題への取り組み、かかりつけ寺院構想）
- ソーシャルキャピタルと神社（鎮守の森コミュニティ・ネットワーク構想）
- キリスト教系NPO（ホームレス支援）
- 教誨師、病院チャプレン、天理教里親活動らに見る「橋を架け、絆を強める宗教的ケア」
- アジアの諸宗教とソーシャル・キャピタル（チベット仏教、タイの上座仏教、イスラム教、ヒンドゥ教など）

キリスト教会とソーシャルキャピタル

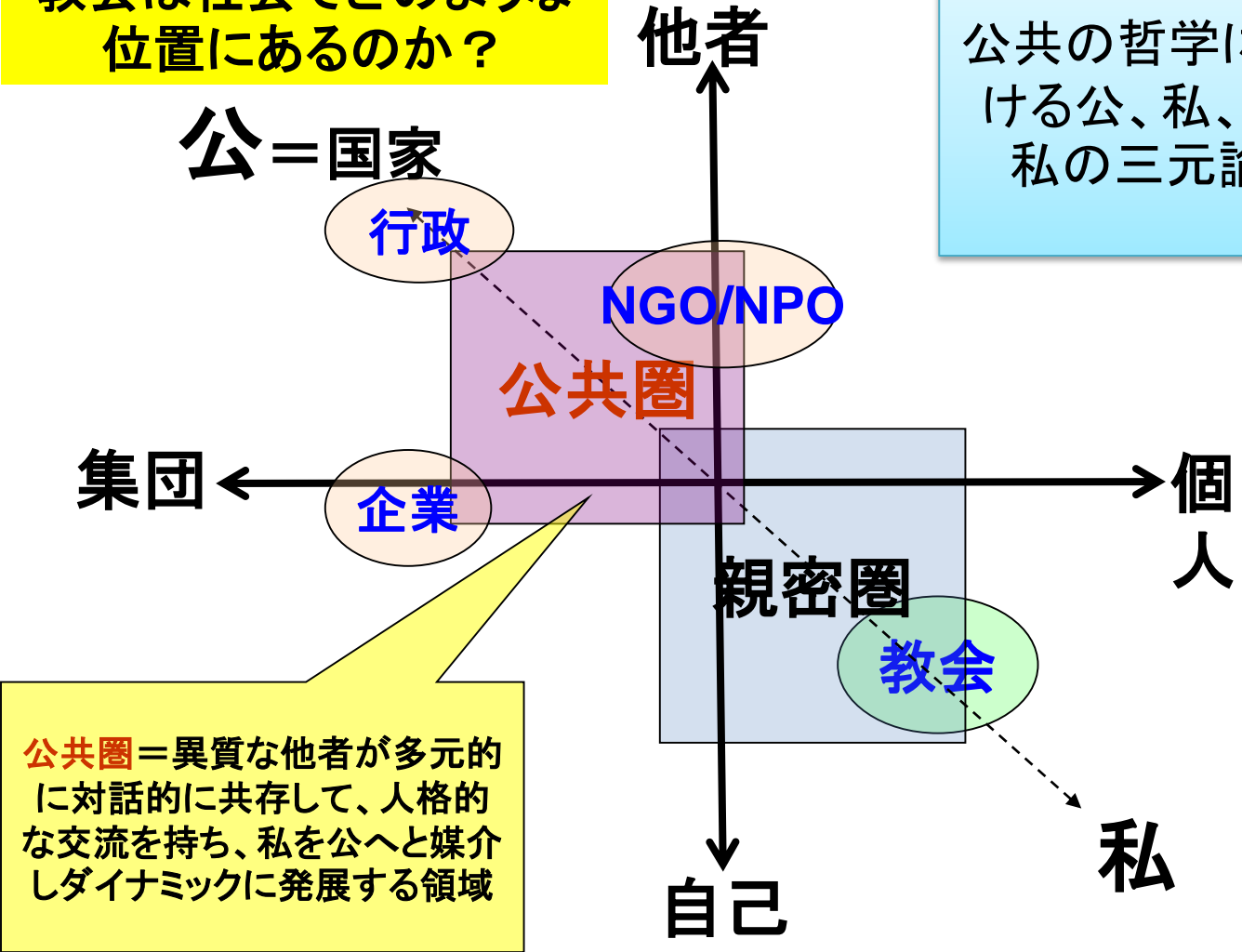
- 韓国：教会が運営する福祉施設（児童が多い）
- 日本：教会が育んだ多くの社会福祉法人。財源は主に公費。
- 教会自身は、結束型ソーシャル・キャピタル⇔架橋型
- 多くの教派・教団どうしの協力関係は不十分（台湾などとは対照的）。社会や異なる宗教にも「橋を架ける」という福祉活動はごく少数。
- 地域に開かれ、人をカテゴリー化せず、地域の人々の福利を探求し、分かち合う包括的宣教型教会の存在も・・・！

リサーチクエスチョン：
地域に派遣された教会が
なぜ地域社会から浮いた存在となっ
てしまっているのか？

- 地域の教会はどのくらい地域社会を知り、また地域の人々に認知されているか？
- 少子・高齢化、いじめ、虐待、自殺、孤独死、孤立の問題、外国人との共生の課題などに教会は本来橋を架ける存在ではないか。

教会は社会でどのような位置にあるのか？

公共の哲学における公、私、公私の三元論



公共圏 = 異質な他者が多角的に対話的に共存して、人格的な交流を持ち、私を公へと媒介しダイナミックに発展する領域

【精神障がい者と共に歩む教会】

ケーススタディ①アルファ教会

- 行き場を失った精神障害を抱える青年の居場所作り
⇒教会がNPO法人でグループホーム設立
- きっかけは、市民(社会、未信者)からのチャレンジ
- 当初、教会総会で三分の一が反対
- スタッフは100%教会員。牧師は理事長で実務も担う。
- 宣教と愛のわざを鮮明な旗印とする。
- 結果→地域社会から信頼、認知。教会員は教会に誇りと愛着が促進。教会内の結束と社会への架橋の両面が促進。

【障がい児や帰る場所のない者と共に生きる教会】

- 教会の中に発達障害の子どもたち。自己肯定感がもてず、悩み苦しむ子らは成人しても社会に不適應になるリスク大。
- 地域の相談支援専門員の助言。放課後デイサービスを宗教法人で市に申請。
- 会堂の隣に一軒家を借りて事業スタート。スタッフは、全員教会員。牧師は後方支援と全体管理。
- 「教会だから」と選んで利用する親子。障害を受け入れられない親もサポート。教会が学校、家庭、社会をつないでいく。
- 失業やDVなどで居場所を喪失した困窮者の一時的な居場所を提供（生活困窮者支援法）
- 行政からの信頼とパートナーシップ
- 福祉を伝道的手段とせず。即席な結果は求めない。地道に共生し、種を蒔いていく。

【信徒主体の教会の福祉ミニストーリー】

- 信徒が理事長で、牧師は理事。形態は、NPOが会堂を借りるかたち。教会の婦人たちが担う制度外の福祉サロン。
- 当初その働きに懐疑的であった牧師。一時は教会に亀裂の危機も。教会地域の高齢者や病む人々が会堂に訪れ、その中に神の国の息吹を感じるように変化。
- 週に一回の食事とお楽しみ、交流の場。スタッフは皆クリスチャンで無給。
- 被災地支援には、地域の未信者の主婦も巻き込んで一緒に実施。既存のカテゴリーを越境したコミュニティの創出。

結び：仮説的結論

- 1) 教会が福祉のミニストリーを実践することは、教会内外のソーシャル・キャピタルを豊かにする。すなわち、それは教会の地域社会からの認知と信頼の獲得。教会の福祉的変革。
- 2) 牧師の業に矮小化されない真の意味での愛のわざ＝実践神学としての福祉の確立につながる。
- 3) 既存の教会形成と異なる新しいカテゴリーとしての福祉コミュニティをもたらす。神の国としての教会！